

## 静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

## ○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 本文

目次		ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等	
1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	(1)流域及び河川の概要	①流域の概要	p1	〔4段落目〕 静岡川流域の気候は、日本海側気候に属し、比較的温暖であるが平地部では14～16℃であるのに対して、山間部では12～14℃と2℃程度の温度差がある。…	静岡川流域の気候は、 <b>日本海型気候区(山陰型)</b> に属し、比較的温暖であるが平地部では14～16℃であるのに対して、山間部では12～14℃と2℃程度の温度差がある。…	(事務局修正) ・より正確な表現に修正
		②治水事業と現状	p2	〔3段落目〕 平成元年の…、洪水調節、流水の正常な機能の維持および水道用水の供給を目的とした三瓶ダムの建設に着手し、平成9年に完成している。	平成元年の…、洪水調節、流水の正常な機能の維持および水道用水の供給を目的とした三瓶ダムの建設に着手し、平成8年に完成している。	(事務局修正) ・三瓶ダムの完成年に誤りがあったため修正。
		③河川利用の現状	p2	〔3段落目〕 また、本支川の堤防沿いには広く桜並木が植えられており、春には花見が楽しめるほか、普段から散歩やジョギングコースなどにも利用されている。静岡川の川合地区では、毎年「かわいの川遊び」、三瓶川合流点付近では「みーもスクール」等のイベントが開催され、地域の人々の交流の場となっている。	また、本支川の堤防沿いには広く桜並木が植えられており、春には花見が楽しめるほか、普段から散歩やジョギングコースなどにも利用されている。静岡川の川合地区では、毎年「かわいの川遊び」、三瓶川合流点付近 <b>など</b> では「みーもスクール」等のイベントが開催され、地域の人々の交流の場となっている。	(事務局修正) ・「みーもスクール」は三瓶川合流点以外の場所でも行われていることから表現を修正
		④河川環境の現状	p3	〔1段落目〕 静岡川の源流から忍原川合流点付近までの上流域は、自然河岸が多く残り、山間部を蛇行しながら流下し、溪流の様相を呈す。河床材料は、礫や玉石が主体である。周辺山地にはコナラ群落やアカマツ群落などの二次林やスギ・ヒノキ植林が広がり、水際にはツルヨシやナルコスゲなどが生育する。山地にはサシバやオオルリ、水際にはキセキレイやカワガラスなどが生息する。また、水域にはタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、清流を好むカジカガエルやサワガニ、クロヒゲカワゲラも見られる。	静岡川の源流から忍原川合流点付近までの上流域は、自然河岸が多く残り、山間部を蛇行しながら流下し、溪流の様相を呈す。河床材料は、礫や玉石が主体である。周辺山地にはコナラ群落やアカマツ群落などの二次林やスギ・ヒノキ植林が広がり、水際にはツルヨシやナルコスゲなどが生育し、 <b>ツリフネソウやナガミノツルキケマンなども見られる</b> 。山地にはサシバやオオルリ、水際にはキセキレイやカワガラスなどが生息する。また、水域にはタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、清流を好むカジカガエルやサワガニ、クロヒゲカワゲラも見られる。	(事務局修正) ・秋季調査を反映
		p3	〔2段落目〕 忍原川合流点付近から銀山川合流点付近までの中流域は、両岸に耕地が開け、早瀬と平瀬が交互に現れ、水衝部には淵が形成されている。河床は礫が主体であり、所々に岩盤の露出も見られるが、緩流部には砂の堆積が目立つ。発達した寄り洲にはツルヨシ群落やセイタカヨシ群落が形成され、アカメヤナギやオニグルミなどの木本類が点在する。河原や浅瀬にはセグロセキレイやキアシシギなどが見られるほか、カジカガエルが生息している。石やブロックの上ではイシガメやスッポンが甲羅干しをしている姿が見られる。植生のある水際にはミナミヌマエビが生息しており、ハグロトンボの生息・産卵場にも利用されている。水域にはカワムツやタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、砂底を好むシマドジョウも見られる。また、回遊性のモクズガニやヒラテテナガエビが確認されており、かつては忍原川合流点付近までアユの遡上も見られた。	忍原川合流点付近から銀山川合流点付近までの中流域は、両岸に耕地が開け、早瀬と平瀬が交互に現れ、水衝部には淵が形成されている。河床は礫が主体であり、所々に岩盤の露出も見られるが、緩流部には砂の堆積が目立つ。発達した <b>寄州</b> にはツルヨシ群落やセイタカヨシ群落が形成され、アカメヤナギやオニグルミなどの木本類が点在する。河原や浅瀬にはセグロセキレイや <b>キアシシギなどが見られるほか</b> 、カジカガエルが生息している <b>ほか</b> 、石やブロックの上ではイシガメやスッポンが甲羅干しをしている姿が見られる。植生のある水際にはミナミヌマエビが生息しており、ハグロトンボの生息・産卵場にも利用されている。水域にはカワムツやタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、砂底を好むシマドジョウも見られる。また、回遊性のモクズガニやヒラテテナガエビが確認されており、かつては忍原川合流点付近までアユの遡上も見られた。	(事務局修正) ・秋季調査を反映(キアシシギは調査における個体数が少ないことから記載を削除) ・「寄り州」、「寄洲」等の表現が混在していたため、「寄州」に統一(以降の表現についても同様)	
		p3	〔3段落目〕 銀山川合流点付近から三瓶川合流点付近までの下流域は、水田の広がる平野部を流下し、流れの緩やかな平瀬区間が続く。河床は砂～礫が主体であり、緩流部には泥の堆積も見られる。コンクリート護岸の法肩部にはシャクやイタドリなどが生育し、寄り洲上にはヨシやツルヨシ群落が形成されている。河原にはハクセキレイなどが生息するほか、ヨシ原ではカヤネズミの営巣も見られる。また、水域にはコイやフナ類、タモロコなどの緩やかな流れを好む種が多く生息しており、天然アユの遡上も確認されている。アユの産卵場としては三瓶川合流点から八日市橋付近までの瀬が考えられる。	銀山川合流点付近から三瓶川合流点付近までの下流域は、水田の広がる平野部を流下し、流れの緩やかな平瀬区間が続く。河床は砂～礫が主体であり、緩流部には泥の堆積も見られる。 <b>堤防法面</b> にはシャクやイタドリ、 <b>カナムグラ</b> などが生育し、 <b>寄州</b> 上にはヨシやツルヨシ群落が形成されている。河原にはハクセキレイや <b>イソシギ</b> などが生息するほか、ヨシ原ではカヤネズミの営巣も見られる。また、水域には <b>コカナダモ群落やエビモ群落が点在し</b> 、コイやフナ類、タモロコなどの緩やかな流れを好む種が多く生息している <b>ほか</b> 、天然アユの遡上も確認されている。アユの産卵場としては三瓶川合流点から八日市橋付近までの瀬が考えられる。	(事務局修正) ・秋季調査を反映	

静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 本文

目次		ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等	
1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	(1)流域及び河川の概要	④河川環境の現状	p3	<p>[4段落目]</p> <p>三瓶川合流点付近から河口までの感潮域は、川幅が広く、大きく蛇行しながら緩やかに流れている。ワンドや干潟など多様な水辺環境が見られ、寄洲上にはまとまった規模の高木ヤナギ林やヨシ原が形成されている。河口に発達した砂州はシロチドリの繁殖場となっているほか、河口部の広い水面はミサゴが採餌場や、冬季には多くのカモ類やカモメ類の休息場として利用されている。また、ヨシ原ではオオヨシキリやオオジュリン、ヒクイナなどのヨシ原への依存性が高い鳥類が多く見られる。水域にはスズキやボラ、マハゼなどの汽水・海水魚のほか、アユやカマキリ、ヌマチチブなどの多くの回遊魚が生息し、サケの遡上も見られる。正原橋付近の堤防にはウマノスズクサが生息し、ジャコウアゲハの繁殖場となっているほか、感潮域はナゴヤサナエの羽化場となっている。</p>	<p>三瓶川合流点付近から河口までの感潮域は、川幅が広く、大きく蛇行しながら緩やかに流れている。ワンドや干潟など多様な水辺環境が見られ、寄洲上にはまとまった規模の高木ヤナギ林やヨシ原が形成され、<b>水際の砂泥堆積地にはタコノアシが生息している。夏季にはオオカナダモ・コカナダモ群落が水域を広く覆う。渡りの時期にシギ・チドリ類が干潟を利用するほか、</b>河口に発達した砂州はシロチドリの繁殖場となっているほか、河口部の広い水面はミサゴが採餌場や、冬季には多くのカモ類やカモメ類の休息場として利用されている。また、ヨシ原ではオオヨシキリやオオジュリン、ヒクイナなどのヨシ原への依存性が高い鳥類が多く見られる。水域にはスズキやボラ、マハゼなどの汽水・海水魚のほか、アユや<b>カマキリ(アユカケ)</b>、ヌマチチブなどの多くの回遊魚が生息し、サケの遡上も見られる。<b>正原橋付近の堤防法面</b>にはウマノスズクサが生息し、ジャコウアゲハの繁殖場となっているほか、感潮域はナゴヤサナエの羽化場となっている。</p>	<p>(前回委員会時指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚種名について、「カマキリ」は一般には伝わりにくい。→「カマキリ(アユカケ)」に修正</li> </ul> <p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査を反映</li> </ul>
			p3 ~p4	<p>[5~8段落目]</p> <p>三瓶川の源流から出口付近までの上流部はヤマセミの棲む溪流環境を呈し、カワムツやタカハヤ、ヤマメ、オオヨシノボリが生息している。また、三瓶ダムのさひめ湖にはミサゴが生息し、湖畔にはアオサギがコロニーを形成しているほか、湖内にはブラックバスの生息も確認されている。出口付近から菜洗橋付近までの中流部は山地部から徐々に平地部へ移行し、オイカワやフナ類のほか、ゲンジボタルが多く生息する。菜洗橋付近から下流は市街地を流れ、都市河川の様相を呈している。</p> <p>銀山川は上流部において世界遺産である石見銀山大森地区の歴史的景観地を流れる。カワムツやオイカワなどが生息するほか、下流から上流にかけて広くゲンジボタルが分布し、餌となるカワニナも多い。</p> <p>忍原川は忍原峡大橋付近において岩盤の露出した溪流環境が見られる。河床に砂が多く、砂底を好むシマドジョウなどが生息している。溪流区間にはオシドリが留鳥として見られる。</p> <p>静岡川感潮域に流れ込む笹川では、回遊魚のカマキリやオオヨシノボリの遡上が確認されている。</p>	<p>三瓶川の源流から出口付近までの上流部はヤマセミの棲む溪流環境を呈し、カワムツやタカハヤ、ヤマメ、オオヨシノボリが生息している。また、三瓶ダムのさひめ湖にはミサゴが生息し、湖畔にはアオサギがコロニーを形成しているほか、湖内にはブラックバスの生息も確認されている。出口付近から菜洗橋付近までの中流部は山地部から徐々に平地部へ移行し、オイカワやフナ類のほか、ゲンジボタルが多く生息する。菜洗橋付近から下流は市街地を流れ、都市河川の様相を呈している。<b>緩流部の水際湿地にはタコノアシが生息している。</b></p> <p>銀山川は上流部において世界遺産である石見銀山大森地区の歴史的景観地を流れる。カワムツやオイカワなどが生息するほか、下流から上流にかけて広くゲンジボタルが分布し、餌となるカワニナも多い。</p> <p>忍原川は忍原峡大橋付近において岩盤の露出した溪流環境が見られる。河床に砂が多く、砂底を好むシマドジョウなどが生息している。溪流区間にはオシドリが留鳥として見られる。</p> <p>静岡川感潮域に流れ込む笹川では、回遊魚の<b>カマキリ(アユカケ)</b>やオオヨシノボリの遡上が確認されている。</p>	<p>(前回委員会時指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚種名について、「カマキリ」は一般には伝わりにくい。→「カマキリ(アユカケ)」に修正</li> </ul> <p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査を反映</li> </ul>
			p4	<p>[9、10段落目]</p> <p>静岡川水系全体について、魚道の未設置や河床低下などの理由から、横断構造物により河川の連続性が確保されていない箇所がある。また、外来種については、ヌートリアが流域内に広く生息しており、本川感潮域ではミシシippアカミミガメやウシガエル、コブハクチョウなどの定着も見られる。河原や河岸部においては、オオカワヂシャやオオキンケイギクなどの外来植物も広く確認されている。</p> <p>静岡川の水質については、本川全域がA類型に指定されており、BOD75%値をみると、環境基準点である下流の正原橋、中流の川合橋において環境基準(2mg/l以下)を概ね満足している。</p>	<p>静岡川水系全体について、魚道の未設置や河床低下などの理由から、横断構造物により河川の連続性が確保されていない箇所がある。また、外来種については、ヌートリアが流域内に広く生息しており、本川感潮域ではミシシippアカミミガメやウシガエル、コブハクチョウなどの定着も見られる。河原や河岸部においては、オオカワヂシャやオオキンケイギクなどの外来植物も広く確認されている。</p> <p>静岡川の水質については、本川全域がA類型に指定されており、BOD75%値をみると、環境基準点である下流の正原橋、中流の川合橋において環境基準(2mg/l以下)を<b>過去10年にわたり</b>満足している。</p>	<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「流域及び河川の概要」に掲載している過去10年の水質データにおいて、両基準地点では環境基準を満足していることから、表現を修正。</li> </ul>
	(2)河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	③河川環境の整備と保全に関する事項	p6	<p>[3段落目]</p> <p>動植物が生息・生育・繁殖する環境については、重要種を含む多様な動植物の生活史を支える環境を確保できるよう、瀬・淵、河畔林、ヨシ原などの良好な自然環境の保全・創出に努める。</p>	<p>動植物が生息・生育・繁殖する環境については、重要種を含む多様な動植物の生活史を支える環境を確保できるよう、瀬・淵、河畔林、ヨシ原、<b>水際湿地</b>などの良好な自然環境の保全・創出に努める。</p>	<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要種であるタコノアシが生息する水際湿地について記載を追加</li> </ul>

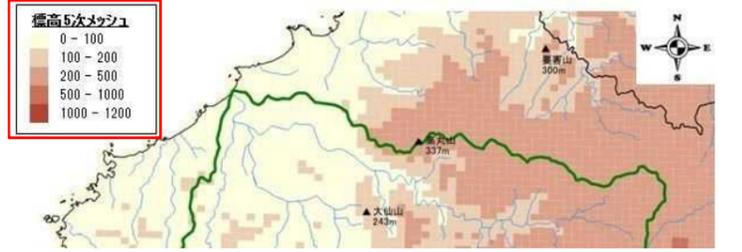
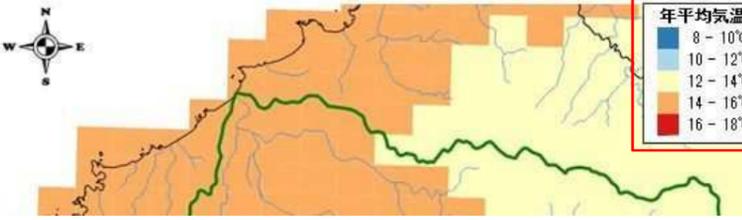
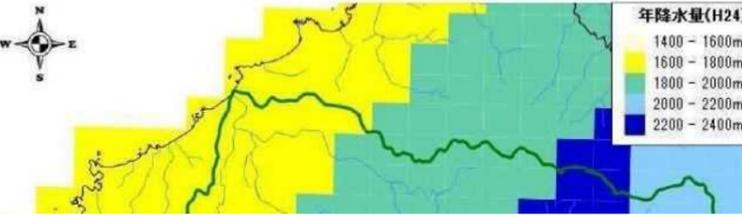
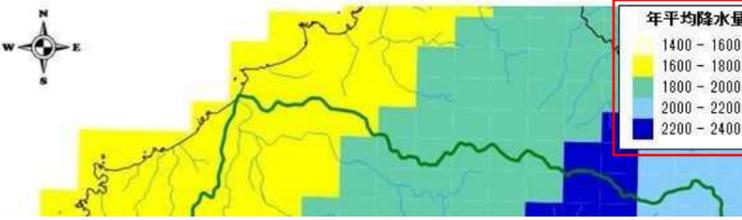
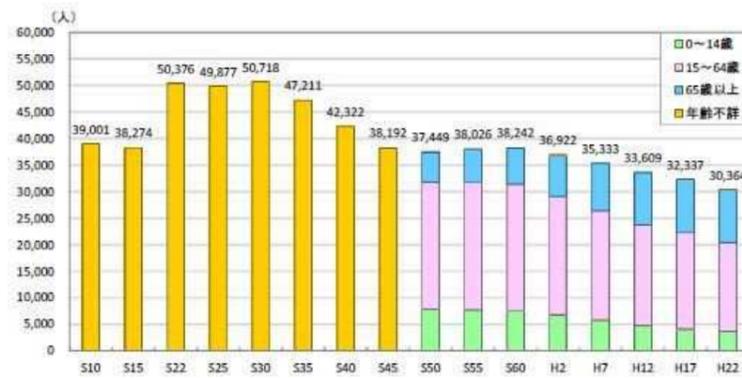
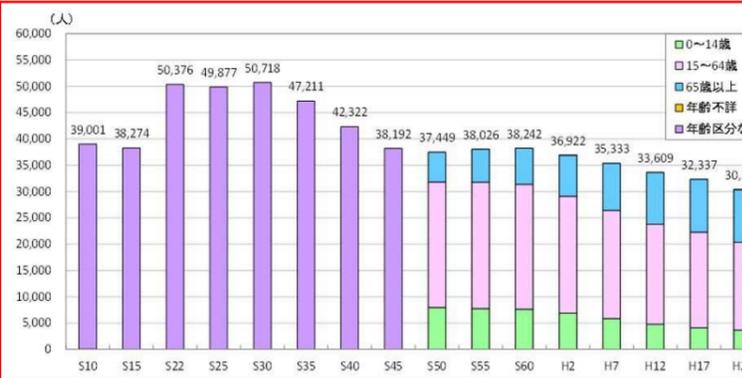
## 静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 本文

目次			ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等
1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	(2)河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	③河川環境の整備と保全に関する事項	p6	[4段落目] 特に、アユやカマキリをはじめとした回遊魚の遡上が可能となるよう、施設管理者と連携して河川の縦断的な連続性の確保に努める。	特に、アユやカマキリ(アユカケ)をはじめとした回遊魚の遡上が可能となるよう、施設管理者と連携して河川の縦断的な連続性の確保に努める。	(前回委員会時指摘事項) ・魚種名について、「カマキリ」は一般には伝わりにくい。→「カマキリ(アユカケ)」に修正
			p6	[5段落目] 外来種については、関係機関と連携して生息状況の把握に努める。	外来種については、関係機関と連携して生息・生育状況の把握に努める。	(事務局修正) ・より正確な表現に修正

# 静間川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静間川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

目次	ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等
1. 静間川流域及び河川の概要	1.2 地形・地質 1.2.1 地形	p3 図-1.3 静間川流域の地形 	原案 	(事務局修正) ・凡例に「傾斜度」と記載していたが、本図は標高のみ示した図であるため記載を削除
1.3 気温・降水量	p5	[1段落目] 流域の気候は日本海側気候に属し、夏は湿気が多く蒸し暑く、冬は体感的に寒さを強く感じ曇天の日が多く雪の降ることもある。…	流域の気候は日本海型気候区(山陰型)に属し、夏は湿気が多く蒸し暑く、冬は体感的に寒さを強く感じ曇天の日が多く雪の降ることもある。…	(事務局修正) ・より正確な表現に修正
	p5	図-1.5 月別平均降雨量と平均気温(大田観測所:…) 図掲載省略	図-1.5 月別平均降水量と平均気温(大田観測所:…) 図掲載省略	(事務局修正) ・記載で「降雨」と「降水」が混在していたため、「降水」で統一
	p5	図-1.6 年平均気温の分布(平年値:S58年~H24年) 		(事務局修正) ・凡例のH24は統計の最終年を示しているが、H24の平均気温と誤解を生じる可能性があるため削除
	p6	図-1.7 年降水量の分布(平年値:S58年~H24年) 	図-1.7 年平均降水量の分布(平年値:S58年~H24年) 	(事務局修正) ・図タイトル及び凡例に「平均」が抜けていたため追記 ・凡例のH24は統計の最終年を示しているが、H24の平均降水量と誤解を生じる可能性があるため削除
2. 流域の社会環境	2.1 人口	p9 図-2.1 静間川流域の人口 		(事務局修正) ・昭和45年調査以前の結果は年齢区分なしの人口のため、昭和50年以降の「年齢不詳」の人口と区別できるよう記載を修正

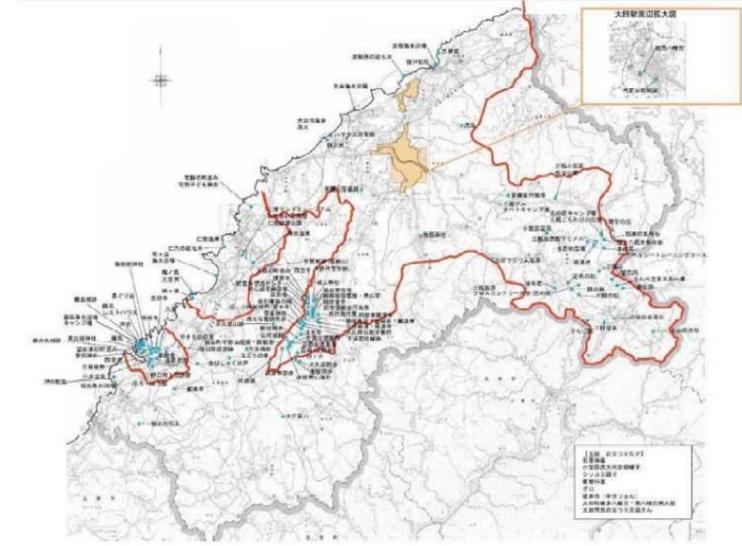
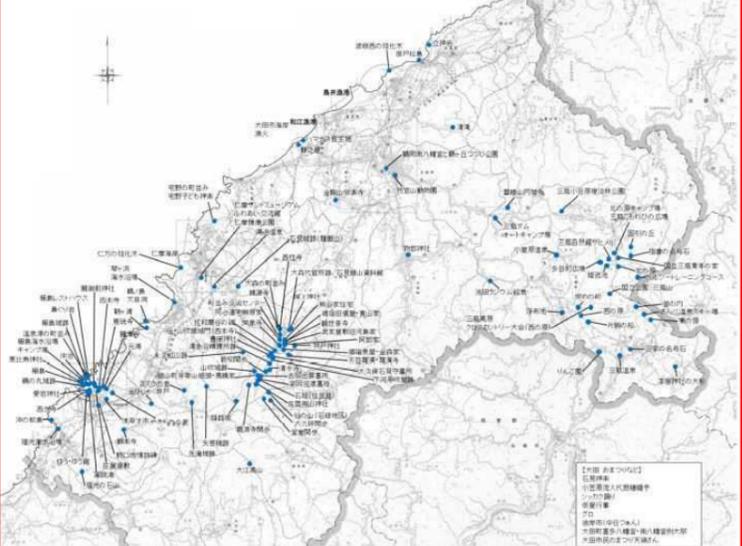
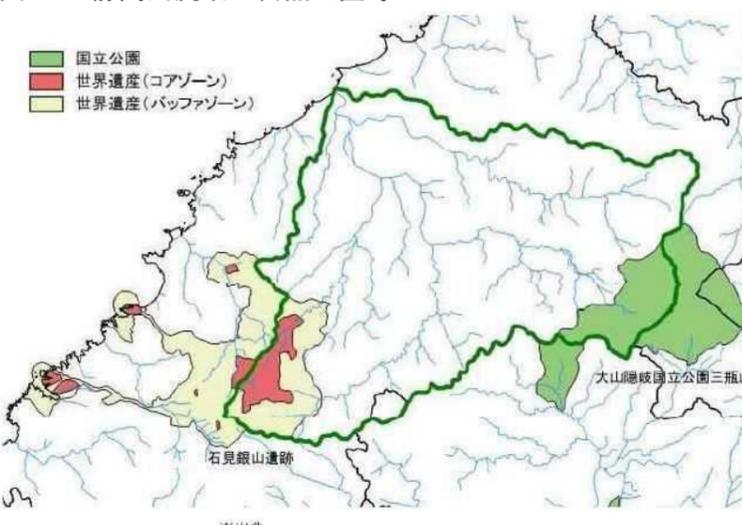
# 静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

目次		ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2. 流域の社会環境	2.1 人口	p9	<p>表-2.1 静岡川流域の人口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和10年 (1935年)</th> <th>昭和15年 (1940年)</th> <th>昭和22年 (1947年)</th> <th>昭和25年 (1950年)</th> <th>昭和30年 (1955年)</th> <th>昭和35年 (1960年)</th> <th>昭和40年 (1965年)</th> <th>昭和45年 (1970年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～14歳</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>15～64歳</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>年齢不詳</td> <td>39,001</td> <td>38,274</td> <td>50,376</td> <td>49,877</td> <td>50,718</td> <td>47,211</td> <td>42,322</td> <td>38,192</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,001</td> <td>38,274</td> <td>50,376</td> <td>49,877</td> <td>50,718</td> <td>47,211</td> <td>42,322</td> <td>38,192</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和50年 (1975年)</th> <th>昭和55年 (1980年)</th> <th>昭和60年 (1985年)</th> <th>平成2年 (1990年)</th> <th>平成7年 (1995年)</th> <th>平成12年 (2000年)</th> <th>平成17年 (2005年)</th> <th>平成22年 (2010年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～14歳</td> <td>7,924</td> <td>7,751</td> <td>7,636</td> <td>6,820</td> <td>5,835</td> <td>4,785</td> <td>4,091</td> <td>3,655</td> </tr> <tr> <td></td> <td>21.16%</td> <td>20.38%</td> <td>19.97%</td> <td>18.47%</td> <td>16.52%</td> <td>14.24%</td> <td>12.65%</td> <td>12.04%</td> </tr> <tr> <td>15～64歳</td> <td>23,910</td> <td>24,040</td> <td>23,748</td> <td>22,276</td> <td>20,572</td> <td>18,970</td> <td>18,170</td> <td>16,665</td> </tr> <tr> <td></td> <td>63.85%</td> <td>63.22%</td> <td>62.10%</td> <td>60.33%</td> <td>58.22%</td> <td>56.44%</td> <td>56.19%</td> <td>54.88%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>5,615</td> <td>6,235</td> <td>6,858</td> <td>7,811</td> <td>8,926</td> <td>9,854</td> <td>10,076</td> <td>10,038</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14.99%</td> <td>16.40%</td> <td>17.93%</td> <td>21.16%</td> <td>25.26%</td> <td>29.32%</td> <td>31.16%</td> <td>33.06%</td> </tr> <tr> <td>年齢不詳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.04%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.02%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37,449</td> <td>38,026</td> <td>38,242</td> <td>36,922</td> <td>35,333</td> <td>33,609</td> <td>32,337</td> <td>30,364</td> </tr> </tbody> </table> <p>[出典：各年国勢調査結果(総務省統計局)]</p>		昭和10年 (1935年)	昭和15年 (1940年)	昭和22年 (1947年)	昭和25年 (1950年)	昭和30年 (1955年)	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	0～14歳	—	—	—	—	—	—	—	—	15～64歳	—	—	—	—	—	—	—	—	65歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	年齢不詳	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	合計	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192		昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	0～14歳	7,924	7,751	7,636	6,820	5,835	4,785	4,091	3,655		21.16%	20.38%	19.97%	18.47%	16.52%	14.24%	12.65%	12.04%	15～64歳	23,910	24,040	23,748	22,276	20,572	18,970	18,170	16,665		63.85%	63.22%	62.10%	60.33%	58.22%	56.44%	56.19%	54.88%	65歳以上	5,615	6,235	6,858	7,811	8,926	9,854	10,076	10,038		14.99%	16.40%	17.93%	21.16%	25.26%	29.32%	31.16%	33.06%	年齢不詳	0	0	0	15	0	0	0	6		0.00%	0.00%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	合計	37,449	38,026	38,242	36,922	35,333	33,609	32,337	30,364	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和10年 (1935年)</th> <th>昭和15年 (1940年)</th> <th>昭和22年 (1947年)</th> <th>昭和25年 (1950年)</th> <th>昭和30年 (1955年)</th> <th>昭和35年 (1960年)</th> <th>昭和40年 (1965年)</th> <th>昭和45年 (1970年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～14歳</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>15～64歳</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>年齢区分なし</td> <td>39,001</td> <td>38,274</td> <td>50,376</td> <td>49,877</td> <td>50,718</td> <td>47,211</td> <td>42,322</td> <td>38,192</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,001</td> <td>38,274</td> <td>50,376</td> <td>49,877</td> <td>50,718</td> <td>47,211</td> <td>42,322</td> <td>38,192</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和50年 (1975年)</th> <th>昭和55年 (1980年)</th> <th>昭和60年 (1985年)</th> <th>平成2年 (1990年)</th> <th>平成7年 (1995年)</th> <th>平成12年 (2000年)</th> <th>平成17年 (2005年)</th> <th>平成22年 (2010年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～14歳</td> <td>7,924</td> <td>7,751</td> <td>7,636</td> <td>6,820</td> <td>5,835</td> <td>4,785</td> <td>4,091</td> <td>3,655</td> </tr> <tr> <td></td> <td>21.16%</td> <td>20.38%</td> <td>19.97%</td> <td>18.47%</td> <td>16.52%</td> <td>14.24%</td> <td>12.65%</td> <td>12.04%</td> </tr> <tr> <td>15～64歳</td> <td>23,910</td> <td>24,040</td> <td>23,748</td> <td>22,276</td> <td>20,572</td> <td>18,970</td> <td>18,170</td> <td>16,665</td> </tr> <tr> <td></td> <td>63.85%</td> <td>63.22%</td> <td>62.10%</td> <td>60.33%</td> <td>58.22%</td> <td>56.44%</td> <td>56.19%</td> <td>54.88%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>5,615</td> <td>6,235</td> <td>6,858</td> <td>7,811</td> <td>8,926</td> <td>9,854</td> <td>10,076</td> <td>10,038</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14.99%</td> <td>16.40%</td> <td>17.93%</td> <td>21.16%</td> <td>25.26%</td> <td>29.32%</td> <td>31.16%</td> <td>33.06%</td> </tr> <tr> <td>年齢不詳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.04%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.02%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37,449</td> <td>38,026</td> <td>38,242</td> <td>36,922</td> <td>35,333</td> <td>33,609</td> <td>32,337</td> <td>30,364</td> </tr> </tbody> </table> <p>[出典：各年国勢調査結果(総務省統計局)]</p>		昭和10年 (1935年)	昭和15年 (1940年)	昭和22年 (1947年)	昭和25年 (1950年)	昭和30年 (1955年)	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	0～14歳	—	—	—	—	—	—	—	—	15～64歳	—	—	—	—	—	—	—	—	65歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	年齢区分なし	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	合計	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192		昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	0～14歳	7,924	7,751	7,636	6,820	5,835	4,785	4,091	3,655		21.16%	20.38%	19.97%	18.47%	16.52%	14.24%	12.65%	12.04%	15～64歳	23,910	24,040	23,748	22,276	20,572	18,970	18,170	16,665		63.85%	63.22%	62.10%	60.33%	58.22%	56.44%	56.19%	54.88%	65歳以上	5,615	6,235	6,858	7,811	8,926	9,854	10,076	10,038		14.99%	16.40%	17.93%	21.16%	25.26%	29.32%	31.16%	33.06%	年齢不詳	0	0	0	15	0	0	0	6		0.00%	0.00%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	合計	37,449	38,026	38,242	36,922	35,333	33,609	32,337	30,364	<p>(事務局修正) ・昭和45年調査以前の結果は年齢区分なしの人口のため、昭和50年以降の「年齢不詳」の人口と区別できるよう記載を修正</p>
		昭和10年 (1935年)	昭和15年 (1940年)	昭和22年 (1947年)	昭和25年 (1950年)	昭和30年 (1955年)	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
0～14歳	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
15～64歳	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
65歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
年齢不詳	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0～14歳	7,924	7,751	7,636	6,820	5,835	4,785	4,091	3,655																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	21.16%	20.38%	19.97%	18.47%	16.52%	14.24%	12.65%	12.04%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
15～64歳	23,910	24,040	23,748	22,276	20,572	18,970	18,170	16,665																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	63.85%	63.22%	62.10%	60.33%	58.22%	56.44%	56.19%	54.88%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
65歳以上	5,615	6,235	6,858	7,811	8,926	9,854	10,076	10,038																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	14.99%	16.40%	17.93%	21.16%	25.26%	29.32%	31.16%	33.06%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
年齢不詳	0	0	0	15	0	0	0	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	0.00%	0.00%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	37,449	38,026	38,242	36,922	35,333	33,609	32,337	30,364																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	昭和10年 (1935年)	昭和15年 (1940年)	昭和22年 (1947年)	昭和25年 (1950年)	昭和30年 (1955年)	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0～14歳	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
15～64歳	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
65歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
年齢区分なし	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	39,001	38,274	50,376	49,877	50,718	47,211	42,322	38,192																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0～14歳	7,924	7,751	7,636	6,820	5,835	4,785	4,091	3,655																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	21.16%	20.38%	19.97%	18.47%	16.52%	14.24%	12.65%	12.04%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
15～64歳	23,910	24,040	23,748	22,276	20,572	18,970	18,170	16,665																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	63.85%	63.22%	62.10%	60.33%	58.22%	56.44%	56.19%	54.88%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
65歳以上	5,615	6,235	6,858	7,811	8,926	9,854	10,076	10,038																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	14.99%	16.40%	17.93%	21.16%	25.26%	29.32%	31.16%	33.06%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
年齢不詳	0	0	0	15	0	0	0	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	0.00%	0.00%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	37,449	38,026	38,242	36,922	35,333	33,609	32,337	30,364																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2.3 歴史・文化・観光等	2.3.1 歴史・文化	p11	<p>〔2段落目〕 静岡川の支川銀山川の上流域には石見銀山があり、戦国時代後期から江戸時代前期にかけて最盛期を迎えた日本最大の銀山(現在は閉山)である。…</p>	<p>静岡川の支川銀山川の上流域には石見銀山があり、戦国時代後期から江戸時代前期にかけて最盛期を迎えた日本最大の銀山(現在は閉山)である。…</p>	<p>(事務局修正) 鉱業権は今も継続(更新)されており、「休山」が正しいため修正。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		p14	<p>図-2.3 静岡川流域の主な文化財</p> <p>※図中の赤線は都市計画区域を示すが、旧版であり現行の都市計画区域とは異なる。(修正中) [出典：大田市景観計画 H22.4 策定(大田市)]</p>	<p>本図は、位置を地図上に示すことができる文化財、記念物のみ記載(無形文化財のほか、絵巻、古文書等の文化財は記載していない) [大田市城図を加工]</p>	<p>(事務局修正) 背景に使用していた図に記載されていた都市計画区域が現在のものと異なっていたため、都市計画区域線が載っていない図に変更。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

# 静間川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静間川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

目次	ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等
2. 流域の社会環境 2.3 歴史・文化・観光等	2.3.2 観光 p21	<p>図-2.5 静間川流域の主な観光資源</p>  <p>※図中の赤線は都市計画区域を示すが、旧版であり現行の都市計画区域とは異なる。(修正中) [出典：大田市景観計画 H22.4策定(大田市)]</p>	 <p>[大田市城図を加工]</p>	<p>(事務局修正) 背景に使用していた図に記載されていた都市計画区域が現在のものと異なっていたため、都市計画区域線が載っていない図に変更。</p>
	2.3.4 自然公園等 p23	<p>[1段落目] 静間川流域では、…指定されている。また、支川銀山川の…登録されている。世界遺産は…分類されている。</p>	<p>※2段落目の新規追加 静間川流域では、…指定されている。また、支川銀山川の…登録されている。世界遺産は…分類されている。 静間川流域の大部分を占める大田市では「大田市景観計画」を策定しており、三瓶川上流域において「大山隠岐国立公園」を取り囲む範囲を「自然環境保全地域」として、銀山川上流域の世界遺産(バッファゾーン)のエリアを「石見銀山景観保全地域」として指定している。</p>	<p>(事務局修正) ・大田市景観計画における地域指定の記載を追記</p>
	p23	<p>図-2.7 静間川流域の自然公園等</p>  <p>※出典 大山隠岐国立公園：国土数値情報(国土交通省国土政策局国土情報課) 石見銀山遺跡：石見銀山遺跡の範囲(島根県教育庁文化財課世界遺産室)</p>	 <p>※出典 大山隠岐国立公園：国土数値情報(国土交通省国土政策局国土情報課) 石見銀山遺跡□□：石見銀山遺跡の範囲(島根県教育庁文化財課世界遺産室) 石見銀山景観保全地域、自然環境保全地域：大田市景観計画(大田市、H22.4)</p>	<p>(事務局修正) ・大田市景観計画における地域指定の記載を追記</p>

## 静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

目次	ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等																																																																							
3. 静岡川水系の治水・利水・環境の概要	3.2 治水事業の沿革	<p>p27</p> <p>〔2段落目〕 平成元年の…、洪水調節、流水の正常な機能の維持および水道用水の供給を目的とした三瓶ダムの建設に着手し、平成9年に完成している。</p>	<p>平成元年の…、洪水調節、流水の正常な機能の維持および水道用水の供給を目的とした三瓶ダムの建設に着手し、平成8年に完成している。</p>	(事務局修正) 三瓶ダムの完成年に誤りがあったため修正。																																																																							
		<p>p27</p> <p>表-3.2 治水事業の沿革</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>施行期間</th> <th>施行内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 静岡川中小河川改修事業(三瓶川)</td><td>昭和 26 年 ~ 昭和 32 年</td><td>築堤、護岸等 L=3,230m</td></tr> <tr><td>2 銀山川災害復旧関連事業</td><td>昭和 44 年 ~ 昭和 45 年</td><td>護岸 L=600m</td></tr> <tr><td>3 静岡川災害復旧助成事業</td><td>昭和 46 年 ~ 昭和 49 年</td><td>護岸 L=3,760m</td></tr> <tr><td>4 笹川災害復旧関連事業</td><td>昭和 47 年 ~ 昭和 49 年</td><td>護岸 L=580m</td></tr> <tr><td>5 静岡川災害復旧関連事業(上流)</td><td>昭和 50 年 ~ 昭和 51 年</td><td>護岸 L=802m</td></tr> <tr><td>6 静岡川災害復旧関連事業(下流)</td><td>昭和 50 年 ~ 昭和 52 年</td><td>護岸 L=765m</td></tr> <tr><td>7 三瓶川災害復旧助成事業</td><td>昭和 50 年 ~ 昭和 53 年</td><td>護岸 L=2,820m</td></tr> <tr><td>8 忍原川局部改良事業</td><td>昭和 55 年 ~ 昭和 62 年</td><td>築堤、護岸等 L=370m</td></tr> <tr><td>9 静岡川中小河川改修事業(本川)</td><td>昭和 26 年 ~ 平成 元 年</td><td>築堤、護岸等 L=5,270m</td></tr> <tr><td>10 三瓶川総合開発事業</td><td>昭和 59 年 ~ 平成 9 年</td><td>三瓶ダム -</td></tr> <tr><td>11 忍原川小規模河川改修事業</td><td>昭和 63 年 ~ 平成 11 年</td><td>築堤、護岸等 L=1,410m</td></tr> </tbody> </table>	事業名	施行期間	施行内容	1 静岡川中小河川改修事業(三瓶川)	昭和 26 年 ~ 昭和 32 年	築堤、護岸等 L=3,230m	2 銀山川災害復旧関連事業	昭和 44 年 ~ 昭和 45 年	護岸 L=600m	3 静岡川災害復旧助成事業	昭和 46 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=3,760m	4 笹川災害復旧関連事業	昭和 47 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=580m	5 静岡川災害復旧関連事業(上流)	昭和 50 年 ~ 昭和 51 年	護岸 L=802m	6 静岡川災害復旧関連事業(下流)	昭和 50 年 ~ 昭和 52 年	護岸 L=765m	7 三瓶川災害復旧助成事業	昭和 50 年 ~ 昭和 53 年	護岸 L=2,820m	8 忍原川局部改良事業	昭和 55 年 ~ 昭和 62 年	築堤、護岸等 L=370m	9 静岡川中小河川改修事業(本川)	昭和 26 年 ~ 平成 元 年	築堤、護岸等 L=5,270m	10 三瓶川総合開発事業	昭和 59 年 ~ 平成 9 年	三瓶ダム -	11 忍原川小規模河川改修事業	昭和 63 年 ~ 平成 11 年	築堤、護岸等 L=1,410m	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>施行期間</th> <th>施行内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 静岡川中小河川改修事業(三瓶川)</td><td>昭和 26 年 ~ 昭和 32 年</td><td>築堤、護岸等 L=3,230m</td></tr> <tr><td>2 銀山川災害復旧関連事業</td><td>昭和 44 年 ~ 昭和 45 年</td><td>護岸 L=600m</td></tr> <tr><td>3 静岡川災害復旧助成事業</td><td>昭和 46 年 ~ 昭和 49 年</td><td>護岸 L=3,760m</td></tr> <tr><td>4 笹川災害復旧関連事業</td><td>昭和 47 年 ~ 昭和 49 年</td><td>護岸 L=580m</td></tr> <tr><td>5 静岡川災害復旧関連事業(上流)</td><td>昭和 50 年 ~ 昭和 51 年</td><td>護岸 L=802m</td></tr> <tr><td>6 静岡川災害復旧関連事業(下流)</td><td>昭和 50 年 ~ 昭和 52 年</td><td>護岸 L=765m</td></tr> <tr><td>7 三瓶川災害復旧助成事業</td><td>昭和 50 年 ~ 昭和 53 年</td><td>護岸 L=2,820m</td></tr> <tr><td>8 忍原川局部改良事業</td><td>昭和 55 年 ~ 昭和 62 年</td><td>築堤、護岸等 L=370m</td></tr> <tr><td>9 静岡川中小河川改修事業(本川)</td><td>昭和 26 年 ~ 平成 元 年</td><td>築堤、護岸等 L=5,270m</td></tr> <tr><td>10 三瓶川総合開発事業</td><td>昭和 59 年 ~ 平成 8 年</td><td>三瓶ダム -</td></tr> <tr><td>11 忍原川小規模河川改修事業</td><td>昭和 63 年 ~ 平成 11 年</td><td>築堤、護岸等 L=1,410m</td></tr> </tbody> </table>	事業名	施行期間	施行内容	1 静岡川中小河川改修事業(三瓶川)	昭和 26 年 ~ 昭和 32 年	築堤、護岸等 L=3,230m	2 銀山川災害復旧関連事業	昭和 44 年 ~ 昭和 45 年	護岸 L=600m	3 静岡川災害復旧助成事業	昭和 46 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=3,760m	4 笹川災害復旧関連事業	昭和 47 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=580m	5 静岡川災害復旧関連事業(上流)	昭和 50 年 ~ 昭和 51 年	護岸 L=802m	6 静岡川災害復旧関連事業(下流)	昭和 50 年 ~ 昭和 52 年	護岸 L=765m	7 三瓶川災害復旧助成事業	昭和 50 年 ~ 昭和 53 年	護岸 L=2,820m	8 忍原川局部改良事業	昭和 55 年 ~ 昭和 62 年	築堤、護岸等 L=370m	9 静岡川中小河川改修事業(本川)	昭和 26 年 ~ 平成 元 年	築堤、護岸等 L=5,270m	10 三瓶川総合開発事業	昭和 59 年 ~ 平成 8 年	三瓶ダム -	11 忍原川小規模河川改修事業	昭和 63 年 ~ 平成 11 年	築堤、護岸等 L=1,410m
事業名	施行期間	施行内容																																																																									
1 静岡川中小河川改修事業(三瓶川)	昭和 26 年 ~ 昭和 32 年	築堤、護岸等 L=3,230m																																																																									
2 銀山川災害復旧関連事業	昭和 44 年 ~ 昭和 45 年	護岸 L=600m																																																																									
3 静岡川災害復旧助成事業	昭和 46 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=3,760m																																																																									
4 笹川災害復旧関連事業	昭和 47 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=580m																																																																									
5 静岡川災害復旧関連事業(上流)	昭和 50 年 ~ 昭和 51 年	護岸 L=802m																																																																									
6 静岡川災害復旧関連事業(下流)	昭和 50 年 ~ 昭和 52 年	護岸 L=765m																																																																									
7 三瓶川災害復旧助成事業	昭和 50 年 ~ 昭和 53 年	護岸 L=2,820m																																																																									
8 忍原川局部改良事業	昭和 55 年 ~ 昭和 62 年	築堤、護岸等 L=370m																																																																									
9 静岡川中小河川改修事業(本川)	昭和 26 年 ~ 平成 元 年	築堤、護岸等 L=5,270m																																																																									
10 三瓶川総合開発事業	昭和 59 年 ~ 平成 9 年	三瓶ダム -																																																																									
11 忍原川小規模河川改修事業	昭和 63 年 ~ 平成 11 年	築堤、護岸等 L=1,410m																																																																									
事業名	施行期間	施行内容																																																																									
1 静岡川中小河川改修事業(三瓶川)	昭和 26 年 ~ 昭和 32 年	築堤、護岸等 L=3,230m																																																																									
2 銀山川災害復旧関連事業	昭和 44 年 ~ 昭和 45 年	護岸 L=600m																																																																									
3 静岡川災害復旧助成事業	昭和 46 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=3,760m																																																																									
4 笹川災害復旧関連事業	昭和 47 年 ~ 昭和 49 年	護岸 L=580m																																																																									
5 静岡川災害復旧関連事業(上流)	昭和 50 年 ~ 昭和 51 年	護岸 L=802m																																																																									
6 静岡川災害復旧関連事業(下流)	昭和 50 年 ~ 昭和 52 年	護岸 L=765m																																																																									
7 三瓶川災害復旧助成事業	昭和 50 年 ~ 昭和 53 年	護岸 L=2,820m																																																																									
8 忍原川局部改良事業	昭和 55 年 ~ 昭和 62 年	築堤、護岸等 L=370m																																																																									
9 静岡川中小河川改修事業(本川)	昭和 26 年 ~ 平成 元 年	築堤、護岸等 L=5,270m																																																																									
10 三瓶川総合開発事業	昭和 59 年 ~ 平成 8 年	三瓶ダム -																																																																									
11 忍原川小規模河川改修事業	昭和 63 年 ~ 平成 11 年	築堤、護岸等 L=1,410m																																																																									
3.5 動植物の状況	3.5.1 河川及びその周辺の自然環境	<p>p37</p> <p>〔(2)上流域〕 静岡川の源流から忍原川合流点付近までの上流域は、自然河岸が多く残り、山間部を蛇行しながら流下し、溪流の様相を呈す。河床材料は、礫や玉石が主体である。周辺山地にはコナラ群落やアカマツ群落などの二次林やスギ・ヒノキ植林が広がり、水際にはツルヨシやナルコスゲなどが生育する。山地にはサシバやオオルリ、水辺にはキセキレイやカワガワなどが生息する。また、水域にはタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、清流を好むカジカガエルやサワガニ、クロヒゲカワゲラも見られる。</p>	<p>静岡川の源流から忍原川合流点付近までの上流域は、自然河岸が多く残り、山間部を蛇行しながら流下し、溪流の様相を呈す。河床材料は、礫や玉石が主体である。周辺山地にはコナラ群落やアカマツ群落などの二次林やスギ・ヒノキ植林が広がり、水際にはツルヨシやナルコスゲなどが生育し、<b>ツリフネソウやナガミノツルキケマンなども見られる</b>。山地にはサシバやオオルリ、水辺にはキセキレイやカワガワなどが生息する。また、水域にはタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、清流を好むカジカガエルやサワガニ、クロヒゲカワゲラも見られる。</p>	(事務局修正) ・秋季調査を反映																																																																							
		<p>p37</p> <p>〔(3)中流域〕 忍原川合流点付近から銀山川合流点付近までの中流域は、両岸に耕地が開け、早瀬と平瀬が交互に現れ、水衝部には淵が形成されている。河床は礫が主体であり、所々に岩盤の露出も見られるが、緩流部には砂の堆積が目立つ。発達した寄り州にはツルヨシ群落やセイタカヨシ群落が形成され、アカメヤナギやオニグルミなどの木本類が点在する。河原や浅瀬にはセグロセキレイやキアシシギなどが見られるほか、カジカガエルが生息している。石やブロックの上ではイシガメやスッポンが甲羅干しをしている姿が見られる。植生のある水際にはミナミヌマエビが生息しており、ハグロトンボの生息・産卵場にも利用されている。水域にはカワムツやタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、砂泥底を好むシマドジョウも見られる。また、回遊性のモクズガニやヒラテテナガエビが確認されており、かつては忍原川合流点付近までアユの遡上も見られた。</p>	<p>忍原川合流点付近から銀山川合流点付近までの中流域は、両岸に耕地が開け、早瀬と平瀬が交互に現れ、水衝部には淵が形成されている。河床は礫が主体であり、所々に岩盤の露出も見られるが、緩流部には砂の堆積が目立つ。発達した<b>寄州</b>にはツルヨシ群落やセイタカヨシ群落が形成され、アカメヤナギやオニグルミなどの木本類が点在する。河原や浅瀬にはセグロセキレイや<b>キアシシギなどが見られるほか、</b>カジカガエルが生息している<b>ほか、</b>石やブロックの上ではイシガメやスッポンが甲羅干しをしている姿が見られる。植生のある水際にはミナミヌマエビが生息しており、ハグロトンボの生息・産卵場にも利用されている。水域にはカワムツやタカハヤ、カワヨシノボリなどが生息し、砂<b>泥</b>底を好むシマドジョウも見られる。また、回遊性のモクズガニやヒラテテナガエビが確認されており、かつては忍原川合流点付近までアユの遡上も見られた。</p>	(事務局修正) ・秋季調査を反映(キアシシギは調査における個体数が少ないことから記載を削除) ・シマドジョウに係る記載について「砂底」が正しいため修正 ・「寄り州」、「寄洲」等の表現が混在していたため、「寄州」に統一(以降の表現についても同様)																																																																							

静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

	目次	ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等
3. 静岡川水系の治水・利水・環境の概要	3.5 動植物の状況	3.5.1 河川及びその周辺の自然環境	<p>p38 [(4)下流域]</p> <p>銀山川合流点付近から三瓶川合流点付近までの下流域は、水田の広がる平野部を流下し、流れの緩やかな平瀬区間が続く。河床は砂～礫が主体であり、緩流部には泥の堆積も見られる。コンクリート護岸の法肩部にはシャクやイタドリなどが生育し、寄州上にはヨシやツルヨシ群落形成されている。河原にはハクセキレイなどが生息するほか、ヨシ原ではカヤネズミの営巣も見られる。また、水域にはコイやフナ類、タモロコなどの緩やかな流れを好む種が多く生息しており、天然アユの遡上も確認されている。アユの産卵場としては三瓶川合流点から八日市橋付近までの瀬が考えられる。</p>	<p>銀山川合流点付近から三瓶川合流点付近までの下流域は、水田の広がる平野部を流下し、流れの緩やかな平瀬区間が続く。河床は砂～礫が主体であり、緩流部には泥の堆積も見られる。<b>堤防法面</b>にはシャクやイタドリ、<b>カナムグラ</b>などが生育し、<b>寄州上</b>にはヨシやツルヨシ群落形成されている。河原にはハクセキレイや<b>イソシギ</b>などが生息するほか、ヨシ原ではカヤネズミの営巣も見られる。また、水域には<b>コカナダモ群落</b>や<b>エビモ群落</b>が点在し、コイやフナ類、タモロコなどの緩やかな流れを好む種が多く生息しているほか、天然アユの遡上も確認されている。アユの産卵場としては三瓶川合流点から八日市橋付近までの瀬が考えられる。</p>	<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査を反映</li> </ul>
		<p>p38 [(5)感潮域]</p> <p>三瓶川合流点付近から河口までの感潮域は、川幅が広く、大きく蛇行しながら緩やかに流れている。ワンドや干潟など多様な水辺環境が見られ、寄州上にはまとまった規模の高木ヤナギ林やヨシ原が形成されている。河口に発達した砂州はシロチドリの繁殖場となっているほか、河口部の広い水面はミサゴの採餌場や、冬季には多くのカモ類やカモメ類の休息場として利用されている。また、ヨシ原ではオオヨシキリやオオジュリン、ヒクイナなどのヨシ原への依存性が高い鳥類が多く見られる。水域にはスズキやボラ、マハゼなどの汽水・海水魚のほか、アユやカマキリ、ヌマチチブなどの多くの回遊魚が生息し、サケの遡上も見られる。正原橋付近の堤防にはウマノスズクサが生育し、ジャコウアゲハの繁殖場となっているほか、感潮域はナゴヤサナエの羽化場となっている。</p>	<p>三瓶川合流点付近から河口までの感潮域は、川幅が広く、大きく蛇行しながら緩やかに流れている。ワンドや干潟など多様な水辺環境が見られ、寄州上にはまとまった規模の高木ヤナギ林やヨシ原が形成され、<b>水際の砂泥堆積地にはタコノアシが生息している</b>。夏季には<b>オオカナダモ・コカナダモ群落</b>が水域を広く覆う。<b>渡りの時期にシギ・チドリ類が干潟を利用するほか</b>、河口に発達した砂州はシロチドリの繁殖場となっている<b>ほか</b>。河口部の広い水面はミサゴの採餌場や、冬季には多くのカモ類やカモメ類の休息場として利用されている。また、ヨシ原ではオオヨシキリやオオジュリン、ヒクイナなどのヨシ原への依存性が高い鳥類が多く見られる。水域にはスズキやボラ、マハゼなどの汽水・海水魚のほか、アユや<b>カマキリ(アユカケ)</b>、ヌマチチブなどの多くの回遊魚が生息し、サケの遡上も見られる。<b>正原橋付近の堤防法面</b>にはウマノスズクサが生育し、ジャコウアゲハの繁殖場となっているほか、感潮域はナゴヤサナエの羽化場となっている。</p>	<p>(前回委員会時指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚種名について、「カマキリ」は一般には伝わりにくい。→「カマキリ(アユカケ)」に修正</li> </ul> <p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査を反映</li> </ul>	
		<p>p39 [(6)支川域]</p> <p>三瓶川の源流から出口付近までの上流部はヤマセミの棲む溪流環境を呈し、カワムツやタカハヤ、ヤマメ、オオヨシノボリが生息している。また、三瓶ダムのさひめ湖にはミサゴが生息し、湖畔にはアオサギがコロニーを形成しているほか、湖内にはブラックバスの生息も確認されている。出口付近から菜洗橋付近までの中流部は山地部から徐々に平地部へ移行し、オイカワやフナ類のほか、ゲンジボタルが多く生息する。菜洗橋付近から下流は市街地を流れ、都市河川の様相を呈している。</p> <p>銀山川は上流部において世界遺産である石見銀山大森地区の歴史的景観地を流れる。カワムツやオイカワなどが生息するほか、下流から上流にかけて広くゲンジボタルが分布し、餌となるカワニナも多い。</p> <p>忍原川は忍原峡大橋付近において岩盤の露出した溪流環境が見られる。河床に砂が多く、砂底を好むシマドジョウなどが生息している。溪流区間にはオシドリが留鳥として見られる。</p> <p>静岡川感潮域に流れ込む笹川では、回遊魚のカマキリやオオヨシノボリの遡上が確認されている。</p>	<p>三瓶川の源流から出口付近までの上流部はヤマセミの棲む溪流環境を呈し、カワムツやタカハヤ、ヤマメ、オオヨシノボリが生息している。また、三瓶ダムのさひめ湖にはミサゴが生息し、湖畔にはアオサギがコロニーを形成しているほか、湖内にはブラックバスの生息も確認されている。出口付近から菜洗橋付近までの中流部は山地部から徐々に平地部へ移行し、オイカワやフナ類のほか、ゲンジボタルが多く生息する。菜洗橋付近から下流は市街地を流れ、都市河川の様相を呈している。<b>緩流部の水際湿地にはタコノアシが生息している</b>。</p> <p>銀山川は上流部において世界遺産である石見銀山大森地区の歴史的景観地を流れる。カワムツやオイカワなどが生息するほか、下流から上流にかけて広くゲンジボタルが分布し、餌となるカワニナも多い。</p> <p>忍原川は忍原峡大橋付近において岩盤の露出した溪流環境が見られる。河床に砂が多く、砂底を好むシマドジョウなどが生息している。溪流区間にはオシドリが留鳥として見られる。</p> <p>静岡川感潮域に流れ込む笹川では、回遊魚の<b>カマキリ(アユカケ)</b>やオオヨシノボリの遡上が確認されている。</p>	<p>(前回委員会時指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚種名について、「カマキリ」は一般には伝わりにくい。→「カマキリ(アユカケ)」に修正</li> </ul> <p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査を反映</li> </ul>	
		<p>p40 [(7)静岡川における重要な種]</p> <p>静岡川水系において確認された重要種は、鳥類22種、爬虫類2種、両生類3種、魚類6種、底生動物6種、昆虫類1種、植物群落4箇所へのぼる(平成27年6月30日現在)。</p>	<p>静岡川水系において確認された重要種は、<b>哺乳類1種</b>、<b>鳥類31種</b>、<b>爬虫類5種</b>、<b>両生類6種</b>、<b>魚類8種</b>、<b>底生動物6種</b>、<b>甲殻類6種</b>、<b>貝類1種</b>、<b>昆虫類23種</b>、<b>植物群落4箇所植物7種</b>へのぼる<b>—(平成27年6月30日現在)—</b>。</p>	<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査、既往文献を反映</li> <li>・特定植物群落については、「3.5.2 流域の自然環境」に記載</li> </ul>	

# 静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

目次	ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>3. 静岡川水系の治水・利水・環境の概要</p> <p>3.5 動植物の状況</p> <p>3.5.1 河川及びその周辺の自然環境</p>	<p>p40</p> <p>p41</p> <p>p41</p>	<p>表-3.6 重要種の選定根拠</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">環境省第4次レッドリスト(環境省)</td> <td style="width: 30%;">環境省 RL</td> <td style="width: 10%;">絶滅危惧 IA 類</td> <td style="width: 10%;">CR</td> <td style="width: 10%;">絶滅危惧 IB 類</td> <td style="width: 10%;">EN</td> <td style="width: 10%;">絶滅危惧 II 類</td> <td style="width: 10%;">VU</td> <td style="width: 10%;">準絶滅危惧</td> <td style="width: 10%;">NT</td> <td style="width: 10%;">情報不足</td> <td style="width: 10%;">DD</td> <td style="width: 10%;">絶滅のおそれのある地域個体群</td> <td style="width: 10%;">LP</td> </tr> <tr> <td>汽水・淡水魚類以外 (H24.8)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>汽水・淡水魚類 (H25.2)</td> <td></td> </tr> </table> <p>表-3.7 静岡川流域の重要種(H27.6月末現在現地調査より)(鳥類)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">目名</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">種名</th> <th colspan="6">重要種の選定基準</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>文化財</th> <th>種の保存法</th> <th>県保護条例</th> <th>市保条例</th> <th>しまね RDB</th> <th>環境省 RL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">鳥類</td> <td rowspan="15">ペリカン目</td> <td rowspan="15">ウ科</td> <td>ヒメウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コウノトリ</td> <td>ウ科</td> <td>クロサギ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カモ目</td> <td>カモ科</td> <td>オンドリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>DD</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">タカ目</td> <td rowspan="10">タカ科</td> <td>ミサゴ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハチクマ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオタカ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイタカ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>DD</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オソロギ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>EN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ツル目</td> <td>ツル科</td> <td>ツル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チドリ目</td> <td>チドリ科</td> <td>シロチドリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シギ目</td> <td>シギ科</td> <td>シギ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スズメ目</td> <td>スズメ科</td> <td>スズメ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>DD</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	環境省第4次レッドリスト(環境省)	環境省 RL	絶滅危惧 IA 類	CR	絶滅危惧 IB 類	EN	絶滅危惧 II 類	VU	準絶滅危惧	NT	情報不足	DD	絶滅のおそれのある地域個体群	LP	汽水・淡水魚類以外 (H24.8)														汽水・淡水魚類 (H25.2)														分類	目名	科名	種名	重要種の選定基準						備考	文化財	種の保存法	県保護条例	市保条例	しまね RDB	環境省 RL	鳥類	ペリカン目	ウ科	ヒメウ						EN		コウノトリ	ウ科	クロサギ				NT			カモ目	カモ科	オンドリ				NT	DD		タカ目	タカ科	ミサゴ					VU	NT		ハチクマ					CR+EN	NT		オオタカ		国内			CR+EN	NT		ハイタカ					DD	NT		オソロギ					CR+EN	VU		オオノボリ					CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	EN		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		ツル目	ツル科	ツル				VU	NT		チドリ目	チドリ科	シロチドリ				NT	VU		シギ目	シギ科	シギ				NT	VU		スズメ目	スズメ科	スズメ				DD	VU		<p>環境省レッドリスト 2015 (環境省 H27.9)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">環境省 RL</td> <td style="width: 10%;">絶滅危惧 IA 類</td> <td style="width: 10%;">CR</td> <td style="width: 10%;">絶滅危惧 IB 類</td> <td style="width: 10%;">EN</td> <td style="width: 10%;">絶滅危惧 II 類</td> <td style="width: 10%;">VU</td> <td style="width: 10%;">準絶滅危惧</td> <td style="width: 10%;">NT</td> <td style="width: 10%;">情報不足</td> <td style="width: 10%;">DD</td> <td style="width: 10%;">絶滅のおそれのある地域個体群</td> <td style="width: 10%;">LP</td> </tr> </table> <p>(哺乳類、鳥類)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">目名/綱名</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">種名</th> <th colspan="6">重要種の選定基準</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>文化財</th> <th>種の保存法</th> <th>県保護条例</th> <th>市保条例</th> <th>しまね RDB</th> <th>環境省 RL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">哺乳類</td> <td rowspan="15">ネコ目(食肉目)</td> <td rowspan="15">イタチ科</td> <td>イタチ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>文献確認</td> </tr> <tr> <td>クサビ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コウノトリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>NT</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">カモ目</td> <td rowspan="10">カモ科</td> <td>オンドリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミサゴ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>DD</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハチクマ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオタカ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイタカ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>DD</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オソロギ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>EN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オオノボリ</td> <td></td> <td>国内</td> <td></td> <td></td> <td>CR+EN</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ツル目</td> <td>ツル科</td> <td>ツル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>VU</td> <td>NT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チドリ目</td> <td>チドリ科</td> <td>シロチドリ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シギ目</td> <td>シギ科</td> <td>シギ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>NT</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スズメ目</td> <td>スズメ科</td> <td>スズメ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>DD</td> <td>VU</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	環境省 RL	絶滅危惧 IA 類	CR	絶滅危惧 IB 類	EN	絶滅危惧 II 類	VU	準絶滅危惧	NT	情報不足	DD	絶滅のおそれのある地域個体群	LP	分類	目名/綱名	科名	種名	重要種の選定基準						備考	文化財	種の保存法	県保護条例	市保条例	しまね RDB	環境省 RL	哺乳類	ネコ目(食肉目)	イタチ科	イタチ						NT	文献確認	クサビ						EN		コウノトリ						NT	NT	カモ目	カモ科	オンドリ					NT	NT		ミサゴ					NT	DD		ハチクマ					CR+EN	NT		オオタカ		国内			CR+EN	NT		ハイタカ					DD	NT		オソロギ					CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	EN		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		オオノボリ		国内			CR+EN	VU		ツル目	ツル科	ツル				VU	NT		チドリ目	チドリ科	シロチドリ				NT	VU		シギ目	シギ科	シギ				NT	VU		スズメ目	スズメ科	スズメ				DD	VU		<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境省レッドリストについて、H27の見直しに伴う名称変更を反映。</li> <li>(事務局修正)</li> <li>秋季調査を反映</li> </ul>
環境省第4次レッドリスト(環境省)	環境省 RL	絶滅危惧 IA 類	CR	絶滅危惧 IB 類	EN	絶滅危惧 II 類	VU	準絶滅危惧	NT	情報不足	DD	絶滅のおそれのある地域個体群	LP																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
汽水・淡水魚類以外 (H24.8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
汽水・淡水魚類 (H25.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
分類	目名	科名	種名	重要種の選定基準						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				文化財	種の保存法	県保護条例	市保条例	しまね RDB	環境省 RL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鳥類	ペリカン目	ウ科	ヒメウ						EN																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			コウノトリ	ウ科	クロサギ				NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			カモ目	カモ科	オンドリ				NT	DD																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			タカ目	タカ科	ミサゴ					VU	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					ハチクマ					CR+EN	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオタカ		国内			CR+EN	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					ハイタカ					DD	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オソロギ					CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ					CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	EN																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			ツル目	ツル科	ツル				VU	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
チドリ目	チドリ科	シロチドリ				NT	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
シギ目	シギ科	シギ				NT	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
スズメ目	スズメ科	スズメ				DD	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
環境省 RL	絶滅危惧 IA 類	CR	絶滅危惧 IB 類	EN	絶滅危惧 II 類	VU	準絶滅危惧	NT	情報不足	DD	絶滅のおそれのある地域個体群	LP																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
分類	目名/綱名	科名	種名	重要種の選定基準						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				文化財	種の保存法	県保護条例	市保条例	しまね RDB	環境省 RL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
哺乳類	ネコ目(食肉目)	イタチ科	イタチ						NT	文献確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			クサビ						EN																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			コウノトリ						NT	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			カモ目	カモ科	オンドリ					NT	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					ミサゴ					NT	DD																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					ハチクマ					CR+EN	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオタカ		国内			CR+EN	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					ハイタカ					DD	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オソロギ					CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	EN																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					オオノボリ		国内			CR+EN	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			ツル目	ツル科	ツル				VU	NT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			チドリ目	チドリ科	シロチドリ				NT	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
シギ目	シギ科	シギ				NT	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
スズメ目	スズメ科	スズメ				DD	VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋季調査を反映</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				<p>(事務局修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋季調査を反映</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

静岡川水系河川整備基本方針(原案) 変更箇所一覧

○静岡川水系河川整備基本方針(原案) 流域及び河川の概要

目次	ページ	素案	原案	委員会での意見、変更理由等																																																																				
3. 静岡川水系の治水・利水・環境の概要	3.5 動植物の状況	3.5.2 流域の自然環境	p42	<p>[2段落目] 三瓶山のブナ林や神社などの社寺林に原生林もしくはそれに近い自然林が見られ、特定植物群落に指定されているほか、近藤ヶ浜のハマナス自生地及び物部神社の社叢は「みんなで守る郷土の自然選定地域」として地域住民に親しまれている。</p>	<p>三瓶山のブナ林や神社などの社寺林に原生林もしくはそれに近い自然林が見られ、<b>4箇所</b>が特定植物群落に指定されているほか、近藤ヶ浜のハマナス自生地及び物部神社の社叢は「みんなで守る郷土の自然選定地域」として地域住民に親しまれている。</p>	<p>(事務局修正) 「表-3.8 静岡川流域の特定植物群落」で4箇所を挙げているため、文章にも反映</p>																																																																		
		p44	<p>表-3.8 静岡川流域の特定植物群落</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>群落名</th> <th>所在地</th> <th>選定基準</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>三瓶山北斜面ブナ林</td> <td>大田市三瓶町</td> <td>A</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>大田物部神社照葉樹林</td> <td>大田市川合町</td> <td>A・E</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>静岡の照葉樹林</td> <td>大田市静岡町</td> <td>A・E</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>久利の照葉樹林</td> <td>大田市久利町</td> <td>A・E</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;特定植物群落選定基準&gt;</p> <p>A: 原生林もしくはそれに近い自然林 B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群 C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地に見られる植物群落または個体群 D: 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの G: 乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群 H: その他、学術上重要な植物群落または個体群</p> <p>[出典：平成 26 年版島根県環境白書（島根県環境生活部環境政策課）]</p>	No.	群落名	所在地	選定基準	面積 (ha)	①	三瓶山北斜面ブナ林	大田市三瓶町	A	60	②	大田物部神社照葉樹林	大田市川合町	A・E	2	③	静岡の照葉樹林	大田市静岡町	A・E	1	④	久利の照葉樹林	大田市久利町	A・E	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>群落名</th> <th>所在地</th> <th>選定基準</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>三瓶山北斜面ブナ林</td> <td>大田市三瓶町</td> <td>A</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>大田物部神社照葉樹林</td> <td>大田市川合町</td> <td>A・E</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>静岡の照葉樹林</td> <td>大田市静岡町</td> <td>A・E</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>久利の照葉樹林</td> <td>大田市久利町</td> <td>A・E</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特定植物群落とは、自然環境保全基礎調査（環境省）により以下の基準によってリストアップされた、学術上重要な群落や保護を要する群落等であり、島根県ではこれらを「保全すべき特定植物群落」として指定している。</p> <p>&lt;特定植物群落選定基準&gt;</p> <p>A: 原生林もしくはそれに近い自然林 B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群 C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地に見られる植物群落または個体群 D: 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの G: 乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群 H: その他、学術上重要な植物群落または個体群</p> <p>[出典：平成 26 年版島根県環境白書（島根県環境生活部環境政策課）]</p>	No.	群落名	所在地	選定基準	面積 (ha)	①	三瓶山北斜面ブナ林	大田市三瓶町	A	60	②	大田物部神社照葉樹林	大田市川合町	A・E	2	③	静岡の照葉樹林	大田市静岡町	A・E	1	④	久利の照葉樹林	大田市久利町	A・E	1	<p>(事務局修正) ・特定植物群落に関する説明を追加</p>																	
No.	群落名	所在地	選定基準	面積 (ha)																																																																				
①	三瓶山北斜面ブナ林	大田市三瓶町	A	60																																																																				
②	大田物部神社照葉樹林	大田市川合町	A・E	2																																																																				
③	静岡の照葉樹林	大田市静岡町	A・E	1																																																																				
④	久利の照葉樹林	大田市久利町	A・E	1																																																																				
No.	群落名	所在地	選定基準	面積 (ha)																																																																				
①	三瓶山北斜面ブナ林	大田市三瓶町	A	60																																																																				
②	大田物部神社照葉樹林	大田市川合町	A・E	2																																																																				
③	静岡の照葉樹林	大田市静岡町	A・E	1																																																																				
④	久利の照葉樹林	大田市久利町	A・E	1																																																																				
	3.6 水質		p47	<p>図-3.11(1) 正原橋地点の水質(BOD)の経年変化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>75%値</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1</td> <td>0.8</td> <td>1.2</td> <td>0.9</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>[出典：公共用水域及び地下水質測定結果報告書（島根県環境生活部環境政策課）]</p>		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	平均	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.9	0.8	0.7	75%値	0.9	0.9	0.8	0.6	0.8	1	0.8	1.2	0.9	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>75%値</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> <td>1.2</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>[出典：公共用水域及び地下水質測定結果報告書（島根県環境生活部環境政策課）]</p>		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	平均	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.9	0.8	0.7	75%値	0.9	0.9	0.8	0.6	0.8	1.0	0.8	1.2	0.9	1.0	<p>(事務局修正) ・BOD平均値、75%値は年単位(1月～12月)ではなく年度単位(4月～3月)で集計して算定した値であるため、横軸に「年度」を記載。 ・表の値について、「1」は「1.0」と表記するのが正しいため修正。</p> <p>※図-3.11(2)についても同様の修正を実施</p>
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																														
平均	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.9	0.8	0.7																																																														
75%値	0.9	0.9	0.8	0.6	0.8	1	0.8	1.2	0.9	1																																																														
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																														
平均	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.9	0.8	0.7																																																														
75%値	0.9	0.9	0.8	0.6	0.8	1.0	0.8	1.2	0.9	1.0																																																														
5. 河川管理の現状	5.3 河道内植生		p50	<p>[2段落目] 特に感潮域の河道内樹木やヨシ原は、そこに生息する生物の良好な生息環境となっているため、治水と環境の調和が図れるよう管理に努める。</p>	<p>特に感潮域の河道内樹木やヨシ原、<b>水際湿地</b>は、そこに生息する生物の良好な生息環境となっているため、治水と環境の調和が図れるよう管理に努める。</p>	<p>(事務局修正) ・重要種であるタコノアシが生育する水際湿地について記載を追加</p>																																																																		